

2025年6月1日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうぎょうかい}久宝教会

第68巻第7号(通算3444号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

ちい 小くされてい ^{ひと}る人を
たいせつ 大切に ^{きょうかい}する教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

イエスは言われた。「私が復活であり、命である。

私に信頼して歩む人は、たとえ死んでいても生きる」(ヨハネによる福音書11:25)

ふっかつせつ
復活節

だい しゅうじつれいはい
第7主日礼拝

《^{れいはい}礼拝はインターネットで^{ちゅうけいはいしん}中継配信いたします。ホームページにてどなたでも^{しちやう}ご視聴いただけますので、それぞれの^{ばしよ}場所で共に^{れいはい}礼拝をして^{いただ}けます》

ぜんそう もくとう 前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば 招きの詞 詩編 93編 1-2節

さんびか 賛美歌 21-337番「たたえよ、この日」(©著作権消滅)

せいしよ 聖書 エフェソの信徒への手紙 4章 1-16節

いの お祈り

さんびか 賛美歌 21-405番「すべての人に」(©JASRAC)

メッセージ「キリストに結ばれて生きる」 牛田 匡 牧師

さんびか 賛美歌 21-542番「主が受入れてくださるから」(©JASRAC)

しゅいの 主の祈り 21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讚美歌改訂委員会)

ささげもの 献げ物 (*)

はけん遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく 祝福 牛田 匡 牧師

こうそう 後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこく 報告 (4頁をご参照ください)

《^{せき}席にお^{すわ}座りになったままで^{れいはい}礼拝にご^{さんか}参加ください》

*^{うけつけ}受付に^{けんきんばこ}献金箱がご^{ざい}ざいます。

「^{ささげもの}献げ物(^{けんきん}献金)」はご^{ようい}用意のある^{かた}方のみ、お^{ささ}献げください。

招きの詞 詩編 93編 1-2節 (聖書協会共同訳)

¹主は王となられた。

主は威厳いげんをまとい／力ちからの衣ころもを身に帯おびておられる。

世界は固すく据えられ／決して揺ゆらぐことはない。

²王座はいにしえより固く据えられ／あなたはとこしえよりおられる。

聖書 エフェソの信徒への手紙 4章 1-16節 (聖書協会共同訳)

¹ですから、主の囚人である私は、あなたがたに勧めます。招かれたあなたがたは、その招きにふさわしく歩み、²謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに耐え忍び、³平和の絆で結ばれて霊による一致を保つよう熱心に努めなさい。⁴体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれたのと同じです。⁵主は一人、信仰は一つ、洗礼(バプテスマ)は一つです。⁶すべてのものの父なる神は唯一であって、すべてのものの上にあり、すべてのものを貫き、すべてのもののおられます。⁷しかし、私たち一人一人に、キリストの賜物たまものの^a 秤はかりに従って、恵みが与えられています。⁸そこで、こう言われています。

「高い所に昇るとき

捕らえた者を引いて行き

人々に贈り物を分け与えられた。」

⁹「昇った」というのですから、低い所、地上に降りておられたのではないでしょう。 ¹⁰この降りて来られた方ご自身が、すべてのものを満たすために、あらゆる天よりもさらに高く昇られたのです。¹¹そして、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音宣教者、ある人を牧者、教師としてお与えになりました。¹²こうして、聖なる者たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストの体を造り上げ、¹³ついには、私たちすべてが、^b 信仰と神の子の知識において一つとなり、完全な者となって、キリストの満ち溢れる成熟した年齢に達するのです。¹⁴こうして、私たちはもはや子どもではなくなり、人の悪まどだくみや、だましまど惑わす策略によるどのような教えの風にも ^{もてあそ}弄もばれたり、振り回されたりすることなく、¹⁵愛をもって真理を語り、頭であるキリストへとあらゆる点で成長していくのです。¹⁶キリストによって、体全体は、支えとなるすべての節々でつなぎ合わされ、一つに結び合わされて、それぞれの部分は分に応じて働いて、体を成長させ、愛の内に造り上げられてゆくのです。

(脚注 a: 別訳「程度」、b: 別訳「神の子への信仰と知識」)

《先週のメッセージより》2025年5月25日

「イエス様のお祈り」より

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 6章 1-15節

「主の祈り」はイエス様が直接「こう祈りなさい」と教えてくださった特別なお祈りとして大切にされてきています。とりわけ「天にまします我らの父よ～」で始まる、文語調の言葉で覚えられている方も少なくないでしょう。しかし、今から2000年前にこの地上を生きられたイエス様が、実際にそのお祈りを教えられた相手の方々は、格式高く、裕福で勉強ができる人たちではありませんでした。むしろ「いろいろな病気や痛みに苦しむ者、悪霊に取りつかれた者、発作に悩む者、体の麻痺した者など、あらゆる病人たち」（マタイ4：24）がイエス様の所に連れて来られており、それらの人たちに向けて語られていました。例えば「我らの罪をも赦したまえ」と訳されている言葉も、もともとは「借金」などを表わす言葉ですから、貧しさの中で借金せざるを得なかった人たち、また返済がうまくいかなくなってしまった人たちの祈りでした。「日ごとの糧（今日の食糧）を与えたまえ」に代表されるくらい日々の生活に密着した素朴なお祈りであったわけです。

「お祈り」は、自分の内面深くや、遙か遠くの天高く人間を超越した存在へと意識を集中することで、私たちが生活している現実から目を逸らすことに目的があるのではありません。それではカルトと同じになってしまいます。むしろ、様々なことに心騒がされている自分自身から、一旦距離をとって離れて、神様と自分との関係、神様の御手の中に抱かれている自分の存在を確認して、だからこそ信頼をもって、もう一度ここから歩み出せる、勇気をもって踏み出せるというもの。あくまでも心を落ち着かせて、この現実世界に還ってくるためのものであるはずです。そこには人と自分を比べる必要もありませんし、「良いお祈り」や「立派なお祈り」とは何かを議論する必要もありません。

イエス様が教えられたと言われているお祈りの言葉を、きれいに覚えて暗唱できることが大事なのではなく、イエス様がその身をもって、生きられたように、私たちも共にいてくださっている神様に助けられながら、信頼をもって歩み出せること。それこそがイエス様の教えてくださったお祈りの姿なのだと思います。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025年5月25日

礼拝出席 大人3人 献金 大人3,000円 中継視聴者数9回 感謝

◎次週 2025年6月8日(日) ペンテコステ(花の日こどもの日) 礼拝

招きの詞 詩編 51編 17-9節

聖書 ヨエル書 2章23節-3章2節

メッセージ 「みんな神様の子ども」牛田匡牧師

賛美歌 「世の初め、鳥のように」、21-290番、21-346番(いずれも©JASRAC)

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・本日の礼拝後に、6月期の「教会を考える会」を行います。
- ・本日の午後、14時から王寺墓地にて昨年に召天された木村信さんの納骨式と、服部墓地から改葬して来たご遺骨の納骨式の墓前礼拝を行います。
- ・次週6月7日(土)に、和歌山県かつらぎ町にて、「縁農」を行います。釜ヶ崎・いこい食堂の方々と一緒に、玉ねぎの収穫作業をお手伝いします。詳しくは牧師までお問い合わせ下さい。
- ・6月12日(木)9時半~11時半にかけて、釜ヶ崎・いこいの家にて「聖書を読む会」を行います。テキストは「聖書の話あれこれ」で、コピーを配布いたします。参加費は無料ですが、カンパがあります。どなたでもご参加ください。
- ・6月7日(土)16時半から18時にかけて、カトリック今市教会(地下鉄谷町線・太子橋今市駅下車徒歩)にて、ペンテコステ(聖霊降臨日)前夕の礼拝「ペンテコステ ヴィジル」が開催されます。カトリック教会(大阪高松大司教区)・日本聖公会(大阪教区)・日本基督教団・日本福音ルーテル教会の共催です。礼拝の説教は、先日新しく日本聖公会大阪教区の主教に就任されたバルナバ小林聡主教です。事前申込不要で、入場無料です。どなたでもご参加ください。(礼拝の席上で、自由献金があります)



◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
6/8	牛田匡牧師	ペンテコステ礼拝 (花の日こどもの日礼拝)
6/15	牛田匡牧師	教会創立記念礼拝 14時半~ 河内地区女性会 (@小阪教会)
6/22	牛田匡牧師	おにぎり支援
6/29	牛田匡牧師	誕生者祝福式

聖霊降臨日前夕礼拝実行委員会 2025年

第17回 聖霊降臨日 前夕の礼拝

ペンテコステ ヴィジル

6月7日(土) 16時半~18時

カトリック今市教会

〒535-0001大阪府旭区太子橋1-1-27
地下鉄谷町線の太子橋今市駅の6番出口から約300m

テモテ 内田 望 司祭 (日本聖公会) 井上 隆晶 牧師 (日本基督教団) 大楽 謙治 牧師 (日本福音ルーテル教会) 竹田 大地 牧師 (日本福音ルーテル教会) 東島 勇人 牧師 (日本基督教団) 長崎 社 神父 (カトリック今市教会) ロッコピビアーノ 神父 (カトリック大阪大司教区)	司式者 説教 内容
---	---

バルナバ小林聡主教 (日本聖公会大阪教区)

「ペンテコステ」はギリシャ語で「五十番日」という意味ですが、「ヴィジル」はラテン語で「夕の祈り」を意味します。大阪では、毎年聖霊降臨節にあたって、その前夕に日本聖公会、日本福音ルーテル教会、日本基督教団、カトリック教会の各教派が集まり、一つになってお祈りします。

入場無料、自由献金があります

主催 カトリック大阪高松大司教区
日本聖公会 大阪教区
日本基督教団
日本福音ルーテル教会

後援 大阪キリスト教連合会

問い合わせ カトリック大阪高松大司教区 本部事務局
エキエムコム委員会 Tel 06-6946-3102

情報 <https://ostk.catholic.jp>